

まちづくりの目標	2. 未来を担う子どもたちを育むまち	主担当課	健康課
小分野	2 1 1 母子保健	関係課	障がい福祉課

1. 第5次総合計画後期基本計画の成果と課題

第5次生駒市総合計画後期基本計画	小分野	現状と課題		4年後のまち	指標				4年後のまちに向けて 実現できた主な成果	4年後のまちに向けて 残した主な課題																								
					実績	目指す値	達成状況																											
	211 母子保健	<p>安心して妊娠・出産でき、またこれからの未来を担う子どもたちが健やかに育っていける環境をつくることは、市の重要な役割です。</p> <p>本市では、母体や胎児の健康保持と増進のため、妊婦一般健康診査の公費負担の実施や、よい育児環境をつくるための基盤づくりを行うため、パパ・ママ教室、パパ講座等を実施しています。</p> <p>また、乳幼児の健康保持のため、乳幼児健康診査・訪問指導・育児教室等の実施や、発育や育児に対する不安の解消を図るため、子育て相談を行うとともに、地域の中で親子の健やかな成長を支援する母子保健推進ボランティアの育成にも取り組んでいます。</p> <p>一方、最近では、産後うつ、育児放棄、虐待等の問題が生じていることへの対策が必要となっています。</p>	<p>今後さらに子どもを安心して産み育てることのできる環境を目指して、母子保健についての意識啓発や健康診査、相談事業等の充実を図るとともに、未熟児への支援等、新たな取組を行っていくことが求められています。</p>	<p>① パートナーや家族の妊娠・出産に対する理解が広がり、安心して妊娠・出産にのぞめる妊婦が増えている。</p> <p>② 健診等の制度や地域の活動を利用することで、子どもがより一層健康で、すくすくと育っている。</p>	<p>① 妊娠 11 週以前での妊娠届出率 (%)</p> <table border="1"> <tr> <th>実績</th> <th>目指す値</th> <th>達成状況</th> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>87.1</td> <td>97.0</td> <td>95.3 ◎</td> </tr> </table> <p>② 1 新生児・乳児訪問の実施率 (%)</p> <table border="1"> <tr> <th>実績</th> <th>目指す値</th> <th>達成状況</th> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>87.8</td> <td>98.0</td> <td>100 ×</td> </tr> </table> <p>② 2 乳幼児健診受診率 (%)</p> <table border="1"> <tr> <th>実績</th> <th>目指す値</th> <th>達成状況</th> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>92.9</td> <td>96.2</td> <td>99.0 ×</td> </tr> </table>	実績	目指す値	達成状況	H21	H29	H30	87.1	97.0	95.3 ◎	実績	目指す値	達成状況	H21	H29	H30	87.8	98.0	100 ×	実績	目指す値	達成状況	H21	H29	H30	92.9	96.2	99.0 ×	<p>・妊娠 11 週以前での妊娠届出率の増加</p> <p>・妊娠中の相談数の増加</p> <p>・一般不妊治療費助成制度の開始</p> <p>・新生児・乳児訪問の実施率の増加 (H25-94.1%→H29-98%)</p> <p>・母子手帳交付時、マタニティコンシェルジュによりすべての妊婦に対して、産後必ず訪問に行くことを徹底して周知した。</p> <p>・乳幼児健康診査受診率の向上</p> <p>・乳幼児健診未受診者の減少、未受診者には、原則現認確認とし、訪問や面接を実施した。</p>	<p>・産後うつを早期に発見し、母が積極的に育児にのぞめることを目指す。</p> <p>・新生児・乳児訪問の専門職（保健師又は助産師）による実施を継続し、出産後の不安に対応するとともに、育児に関する知識の普及や、母親の心身の健康状態の安定を図ることを目指す。</p> <p>・乳幼児（3 か月児、7 か月児、12 か月児、1 歳 6 か月児、3 歳 6 か月児）健康診査の受診率の向上（特に 3 歳 6 か月児健診）を目指す。</p> <p>・健診未受診者の実態把握率の向上を図る。</p>
実績	目指す値	達成状況																																
H21	H29	H30																																
87.1	97.0	95.3 ◎																																
実績	目指す値	達成状況																																
H21	H29	H30																																
87.8	98.0	100 ×																																
実績	目指す値	達成状況																																
H21	H29	H30																																
92.9	96.2	99.0 ×																																

2. 第6次総合計画（原案骨子）

第6次総合計画（原案）					
現状と今後5年間の展望	今後5年間の主な課題	5年後のまち （2024年3月末）	指標（複数候補）	行政の5年間の主な取組	具体的な事業
<p>国や奈良県の方針や取り組みを踏まえながら、平成27年3月に「生駒市子ども・子育て支援事業計画」が策定され、『子育て楽しいね！いこま～子どもも大人も笑顔で健やかに育ちあうまち～』を理念として、様々な施策を実施してきました。</p> <p>しかし最近では、産後うつ、育児放棄、虐待等の問題が生じており、その対策が急務となっています。</p> <p>それに加え、少子化や核家族化の進展、地域のつながりの希薄化、子供を取り巻く環境が厳しい中、今後さらに子どもを安心して産み育てることのできる環境を目指し、母子保健事業のさらなる充実を図ります。</p>	<p>安心して妊娠・出産でき、またこれからの未来を担う子どもたちが健やかに育っていけるように、妊娠から出産、子育て期まで、切れ目ない支援ができる環境を作ることが必要です。</p> <p>そのために、母体や胎児の健康保持増進のための、各種サービス（パパママ教室やパパ講座等）や、妊婦一般健康診査の公費負担、不育症や一般不妊治療費の助成制度及び産後ケア事業、また、乳幼児の健康保持増進のため、乳幼児健康診査・訪問指導・各種子育て相談等を実施します。</p>	<p>①パートナーや家族の妊娠・出産・子育てに対する理解が広がり、安心して妊娠・出産・子育てにのぞめる妊婦とパートナー、その家族が増えている。</p>	<p>①1 妊娠届出数（健康課）</p> <p>①2 パパママ教室参加者数（健康課）</p>	<p>①1 母子健康手帳発行時、マタニティコンシェルジュによりすべての妊婦に対して、不安や心配事などの聞き取りをし、丁寧な保健指導を行います。（健康課）</p> <p>①2 妊娠・出産・子育てに関する知識、技術を習得する機会や情報の提供を行います。（健康課）</p> <p>①3 父親の母親に対する精神的支援や理解の必要性の啓発を行います。（健康課）</p> <p>①4 妊産婦・新生児訪問や妊婦健康診査を実施します。（健康課）</p> <p>①5 不育症治療費・一般不妊治療費の助成を実施し、経済的負担を軽減します。（健康課）</p> <p>①6 産後ケア事業により、産後の心身の安定と育児不安を解消し、安心して産み育てられる環境を整えます。（健康課）</p>	<p>①1 母子健康手帳交付（パパの手帳、祖父母用リーフレット）（健康課）</p> <p>①2 パパママ教室・パパ講座（健康課） 妊婦訪問指導（健康課）</p> <p>①3 妊娠届出時に、パパ向け冊子「パパコト」を配布（健康課）</p> <p>①4 妊婦一般健康診査（健康課）</p> <p>①5 不育症・一般不妊治療費助成制度（健康課）</p> <p>①6 産後ケア事業（健康課）</p>
		<p>②保護者が精神的に安心して子育てでき、健診等の制度や地域の活動を利用することで、子供がより一層健康で、すくすくと育っている。</p>	<p>②1 新生児・乳児訪問の実施率（健康課）</p> <p>②2 乳幼児健診受診率（健康課）</p>	<p>②1 産婦・新生児や乳児の訪問を実施します。（健康課）</p> <p>②2 未熟児への支援のため、産科医療機関との連携を強化します。（健康課）</p> <p>②3 母子保健推進ボランティア・託児ボランティアの育成のための研修等を行います。（健康課）</p> <p>②4 疾病の早期発見、早期治療、障がいの早期発見、また育児支援などを行うため、乳幼児健康診査を実施します。また、健診の事後フォローを実施します。（健康課）</p> <p>②5 疾病予防のために、予防接種を実施します。（健康課）</p> <p>②6 発達や育児への不安の解消等、親への支援と子どもの健全な育成のため、子育て・発達相談及び家庭訪問を実施します。（健康課）</p> <p>②7 子育てに関する知識、技術を習得する機会や交流の場の提供を行います。（健康課）</p> <p>②8 障がい児や発達に遅れのある子どもの、医療機関や児童福祉施設等との連携による早期療育や相談体制の充実を図ります。（障がい福祉課）</p>	<p>②1 産婦・新生児・乳幼児訪問指導（健康課）</p> <p>②2 未熟児訪問指導事業（健康課）</p> <p>②3 母子保健推進員・託児ボランティア研修会（健康課）</p> <p>②4 乳幼児健康診査（健康課）</p> <p>②5 各種予防接種（健康課）</p> <p>②6 各種育児相談（健康課）</p> <p>②7 おっぱい相談会（健康課）</p> <p>②8 親子教室での集団支援、個別発達相談、幼稚園・保育園への施設支援事業（健康課） 障がい児相談支援事業（障がい福祉課）</p>

3. 庁内連携、市民等との協創のアイデア等

5年後のまち (2024年3月末)	課題解決のために 必要な庁内連携	課題解決のために必要な市民・事業者に 果たしてもらいたい役割	課題解決のために取り組みたい「協創」のアイデア			
			市民と	地域と	事業者・NPO等と	他の行政機関等と
①パートナーや家族の妊娠・出産・子育てに対する理解が広がり、安心して妊娠・出産・子育てにのぞめる妊婦とパートナー、その家族が増えている。	・妊婦本人からの発信だけでなく周囲からも育児をサポートするために、子育て支援総合センターとも連携して、啓発リーフレットの配布場所を拡大します。	<p>[市民]</p> <ul style="list-style-type: none"> 安心して妊娠・出産・子育てを迎えられるよう、妊娠・出産・子育てに関心を持ち、知識を深める。 妊婦本人だけでなく地域住民や事業者も妊娠・出産・子育てに関心を持ち、地域の妊婦を積極的にサポートできる。 <p>[事業者]</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊婦本人だけでなく地域住民や事業者も妊娠・出産・子育てに関心を持ち、地域の妊婦を積極的にサポートできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 安心して妊娠・出産・子育てを迎えられるよう各種教室等で、より身近な実例として体験談やアドバイスを出産前の親に伝える場を提供し、併せて親同士の仲間づくりを共にすすめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域で子育てを支えるために、地域で活動中の自主グループの活動を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、事業者に子育てに関する知識・技術の普及に向けた情報提供を行い、子育て中の方への支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 安心して妊娠・出産・子育てを迎えられるよう、国や県が有する情報やノウハウを活用する。
②保護者が精神的に安心して子育てでき、健診等の制度や地域の活動を利用することで、子供がより一層健康で、すくすくと育っている。	・子どもが健康ですくすくと育つために、子育て支援総合センターやこども課と連携し、安心して子育てができるような体制づくりを行います。	<p>[市民]</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育てに関する自主グループに参加する。 地域住民や事業者も妊娠・出産・子育て等の母子保健事業に関心を持ち、保護者が地域で安心して子育て出来るよう、積極的にサポートできる。 <p>[事業者]</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民や事業者も妊娠・出産・子育て等の母子保健事業に関心を持ち、保護者が地域で安心して子育て出来るよう、積極的にサポートできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育てにかかる様々な問題について参加者同士が悩みを共有し語り合えるように自主グループ等を共に企画・運営する。 	<ul style="list-style-type: none"> 安心して子育てしてもらうために、健康づくりリーダー等が、妊産婦や子育て中の保護者、乳幼児の相談相手やサポート役になる。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの健診や予防接種を受けやすくするために、医療機関等と受診しやすい体制づくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 安心して子育てできるよう、国や県が有する情報やノウハウを活用する。